

TOMO GAKU 韌学 Fukuyama City Tomonoura Academy 2025 年度（令和 7 年度）福山ブランド「韌学」 カリキュラム																			
目標	地域を素材とした課題発見・解決学習を通して，世界に視野を広げ，社会のために実践する力を育む。																		
育成すべき 21世紀型 ”スキル&倫理観”	課題発見・解決能力			情報活用能力			コミュニケーション能力		郷土愛										
	①物事を多面的に見たりこれまでの経験や知識を活用したりする中で新たな課題を発見することができる。 ②多様な他者と協働したりよりよい解決方法を選択したりすることで目的に応じた納得解を導き出したり実行したりすることができる。			①適切かつ効果的な情報を収集できる。 ②収集した情報を分類・整理・比較・関連付けて，目的や意図に応じて適切かつ効果的にまとめることができる。 ③多様な他者を相手とし，情報と関連付けてより効果的な方法で発信することができる。			①多様な他者と互いの考えを認め合いながら協働することができる。 ②多様な他者と協働することで新たな考えを創造し，適切かつ効果的な解を導き出すことができる。		①韌のよさや課題を理解した上で，解決策を考えることができる。 ②世界的な視野で，韌のよりよい町づくりに貢献できる。										
課程	前期				中期			後期											
	魅力発見・課題発見					魅力発信・自己探究													
学年	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		第7学年		第8学年		第9学年		
学習課題	環境		施設・商店		史跡・伝統		防災		産業		魅力発信		自己探究						
探究課題	韌の自然		公共施設 の役割と工夫		町の特徴と そこで出会った人々		防災に向けた 町づくりと取組		町の産業と そこに関わる人々や組織		韌の魅力 コミュニケーション		自己課題・地域課題 韌の魅力						
学習事項	四季の変化		公共施設や商店の 人々の思いや願い		史跡とそこに携わる人々の 願い		安全を守る人々の願い		産業とそこに関わる 人々の思いや願い		史跡・産業・景観・歴史 町を訪れる人々		探究 史跡・産業・景観・歴史，町に暮らす人々の思いや願いなど			史跡・産業・景観・歴史 町を訪れる海外の人			
授業時数	40 (探究 36)		44 (探究 40)		79 (探究 75)		87 (探究 75)		87 (探究 75)		87 (探究 75)		75 (探究 40・職場 27)		75 (探究 40・職場 27)		75 (探究 54・進路 20)		
伝統体験・継承	4		4		4		12		12		12		8		8		1		
単元名	みーつけた！ きせつと TOMO だち		たんけん！発見！ 町と TOMO だち			守りたい！ TOMO BOSAI リーダー			発見！開発！ TOMO ブランド		伝えたい！ TOMO 自慢		TOMOに高め合おう！ 自己探究						
学習内容	○春とTOMOだち 五感で春を感じる。草花で遊ぶ。 ・草花 ・生き物		○韌の公共施設調べ 町たんけんを通して，気づきを交流する。 ・位置・役割・様子・働く人・自分との関わり			○災害を知る 災害の起こる仕組み，韌で実際に起こった災害を知る。 福山市，他県，世界で起こった災害を知る。 町の危険箇所を実際に訪れ，ハザードマップと照らしながら調べる。 ・津波 ・地震 ・火事 ・大雨・台風 ・事故 ・土砂災害 ・風水害			○産業調べ 第9学年(チャレンジウィーク経験者)や地域のから韌の産業について聞く。 ・観光業・ものづくり・商業 ・伝統工芸 企業とコラボするために1学期にいろいろな所とつながる。		○魅力発信方法の模索 韌の魅力を発信する方法を考える。 ・写真集 ・ガイドブック ・パン ・しおり ・かるた ・地図		○職場見学 4月 自己を見つめる① 5月 マナー講座① 6月 見学準備⑥ 7月 職場見学⑬ 職場見学のまとめ③		○職場体験 4月 自己を見つめる① 5月 マナー講座① 6月 体験準備⑥ 7月 職場体験⑬ 職場体験報告会③		○世界へ魅力発信 TOMO の自慢をいつ，だれに，どうやって発信するかを考える。 ・英語ボランティア ・その他の方法 11月上旬 韌学発表会		
	○夏とTOMOだち 五感で夏を感じる。草花で遊ぶ。 ・春からの変化 ・生き物 ・夏祭り(子ども園・2年生と一緒に)		○他の町と比べよう 社会見学を活用して韌の町と他の町を比較する。 ・他の町の特徴・韌の町の特徴						○産業の課題を考える 韌の産業のこれからを考える。 ・商品開発 ・ポップ作成 ・ブランド化		○魅力発信方法の検討 ・それぞれの方法のメリットデメリット				○整理・分析 収集した情報を整理分析する。 【考えるための10の技法を活用】 ①順序付ける ②比較する ③分類する ④関連付ける ⑤多面的，多角的に見る ⑥理由付ける ⑦見通す ⑧具体化する ⑨抽象化する ⑩構造化する ・どんなことが分かったか ・これからどうしたいのか				
	○秋とTOMOだち 五感で秋を感じる。 ・春，夏からの変化 ・生き物 ・秋のものを集める。 「あきのひろば」を開催する。		○韌の施設，商店まとめ 調べてきたこと，他の町との違いをまとめる。 ・発信先・方法・写真			○備えについて考える 専門家に意見をもらいながら，避難生活について学び，備えをする。 ・避難場所 ・避難生活 ・マイ防災バック作成			OTOMO ブランド提案 韌の産業を盛り上げるプランを考える。 ・食ブランド ・ものづくりブランド ・観光スポットブランド ・イベントブランド ・お土産ブランド 考案したブランドをプレゼンする。		○魅力発信実行 ・少人数グループで ・やってみる				○探究の仕方を確認する ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理分析 ④まとめ・表現 【課題の種類】 ・過疎化・高齢化 ・少子化・空き家問題 ・交通・福祉 ・観光・絶景ポイント ・HP作成 など				
	○冬とTOMOだち 五感で冬を感じる。 ・春，夏，秋からの変化 ・草花 ・冬の遊び(紙飛行機・たこ)		○町のたんけん 町を探索し，韌の町の特徴に気づく。 ・史跡・海の町・景観・建物・仙酔島・ミニガイド案内人 観点を分けることで，韌の特徴を把握する。			OBOSAI フェスティバル 発信先，方法を決め，防災について学んだことを発信する。 ・地域の方・本 ・他学年・クイズ ・家族・講習 ・防災ブック作成 ・韌防災宣言 他県，世界に向けて，防災に関わる考え方，防災計画等を発信する。			OTOMO ブランド実行 考案したブランドを実現する。 ブランドとして発信する。		○加筆・修正 ・振り返りを活かして加筆・修正を行う		○健康教育 ・R7 年5月国際バラ会議に向けて		○自己課題を設定する これまでの学習を振り返り，翌年度から探究していく課題を設定する。 7・8年生からアドバイスをもらう！				
○きせつとTOMOだち！ 五感で感じた四季を表現する。 ・年表 ・写真 ・合唱，合奏 ・詩，俳句 ・絵⇒カレンダー⇒地域に発信 2年生での地域との交流へつなげる		○町の特徴まとめ 発信先，方法を決め，調べたことをまとめる。 ・福山市・他都市・イラストマップ・他県・かるた ・他国・すごろく など								○健康教育(10月実施)		○幸せの丘 ・R7 年5月国際バラ会議に向けて		○情報の収集 必要な情報を自分で方法を収集する。 ・書籍の活用 ・PCでの検索 → 取捨選択，信憑性 ・町へ出での調査 ・インタビュー など					
キャリア教育	町にどんな施設があるか知る		感謝状，教科との関わり 地域の方が韌を大切にされていることを知る・好きを見つける			計画力をつける			人々の思いを聞く		韌のためにできることをして，自分のよさを知る		職場見学		職場体験		進路		
伝統継承・体験	伝統体験（茶道・華道・座禅）（2月）				環境保護体験			大漁節（4月）			和太鼓・アイヤ節（4月）			アイヤ節（4月）					